

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2025(令和7)年6月24日	
鹿児島県知事 殿	
提出者	
住 所	神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5
氏 名	アルバックテクノ株式会社
	代表取締役社長 島田 鉄也
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	0467-87-1046
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	アルバックテクノ株式会社 経営戦略本部 ケミカル部 横川製造課
事業場の所在地	鹿児島県霧島市横川町上ノ3313
計 画 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	05 製造業
② 事業の規模	売上：2億9千万(前年度実績)
③ 従業員数	23名(2025年6月現在) ケミカル部 横川製造課
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	弊社表面処理(苛性ソーダ、硝酸、硫酸等)の濃度低下や劣化した廃液→ローリーにて回収(ジャパンウエイスト、ダイセキ)→中間処理(中和、凝集)→フィルタープレスにて固形分離→上澄み水は洗浄水として再利用→脱水汚泥はセメント原料の一部としてリサイクル(光和精鉱、UBE三菱セメント)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) 客先生産の変動により製品投入量に応じて製品スペックに与える影響を考慮し排出量を抑制。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	排出量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) 薬液を繰返し使用し、製品スペックに与える影響を精査し、最適条件を見出す事で排出量の抑制を継続して行う。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各処理工程で使用の薬液(特別管理産業廃棄物)濃度低下及び劣化したものを各処理槽(酸、アルカリ)からタンクローリーで回収し、特別管理産業廃棄物として排出している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別管理産業廃棄物、産業廃棄物を別々のタンクにストックし、これを分けて排出する事で特別管理産業廃棄物の排出量を抑える。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) 計画なし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) 計画なし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(これまでに実施した取組) 実績なし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙のとおり t	— t
	(今後実施する予定の取組) 計画なし		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全処理委託量	別紙のとおり t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	— t
(これまでに実施した取組) ペレット製造またはセメント原料製造工程の原燃料として再生利用			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	— t
(今後実施する予定の取組) 現状維持とする。			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度 (令和6 年度) 実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	296.68 t	
(今後実施する予定の取組等) 現状維持とする。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物 処理計画書 内訳書

令和7 年度分

事業場名	アルバックテクノ株式会社 経営戦略本部 ケミカル部 横川製造課
------	---------------------------------

別紙

※取り扱う廃棄物の種類が1種類であっても、この表を作成してください。

数字(t)

廃棄物の種類	廃棄物の排出の抑制に関する事項		自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の埋立処分		産業廃棄物の処理の委託に関する事項										
	①現状(前年度実績)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)		②計画(今年度計画)		①現状(前年度状況)	②計画(今年度計画)	①現状(前年度状況)					②計画(今年度計画)					
	排出量	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量する量	自ら埋立処分を行った量	自ら埋立処分を行う量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)再生処理業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託した量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	全処理委託量	(左記内訳)優良認定処理業者へ処理を委託する量	(左記内訳)再生利用業者へ処理を委託する量	(左記内訳)認定熱回収業者へ処理を委託する量	(左記内訳)認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量	
1	廃油(燃焼性)	0.08	0.08								0.08	0.08				0.08	0.08				
2	廃酸(pH2.0以下)	34.36	33.00								34.36	34.36				33.00	33.00				
3	廃アルカリ(pH12.5以上)	12.50	12.00								12.50	12.50				12.00	12.00				
4	感染性廃棄物																				
5	廃PCB等(特定有害廃棄物)																				
6	PCB汚染物(特定有害廃棄物)																				
7	PCB処理物(特定有害廃棄物)																				
8	指定下水汚泥(特定有害廃棄物)																				
9	鉍さい(特定有害廃棄物)																				
10	廃石棉等(特定有害廃棄物)																				
11	燃え殻(特定有害廃棄物)																				
12	ばいじん(特定有害廃棄物)																				
13	廃油(特定有害廃棄物)																				
14	汚泥(特定有害廃棄物)																				
15	廃酸(特定有害廃棄物)	78.40	15.00								78.40	78.40				15.00	15.00				
16	廃アルカリ(特定有害廃棄物)	171.34	34.00								171.34	171.34				34.00	34.00				
17	廃水銀等(特定有害廃棄物)																				
18	その他																				
合計		296.68	94.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	296.68	296.68	0.00	0.00	0.00	94.08	94.08	0.00	0.00	0.00	0.00

経営戦力本部 ケミカル部 横川製造課

※特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制図

